



大地

令和5年6月号

校長 指崎 邦久

先日、北陸地方が梅雨入りしたとみられると气象台から発表がありました。子供たちが植えた、花や苗にとって恵みの雨となることを期待しています。ある朝、子供から、「これを食べてみてください」と桑の実をもらいました。味わうと酸味とほのかな甘みがあり、自然の素晴らしさを感じるとともに、桑の実に目を止めすすめてくれた子供の豊かな感性に感心しました。子供は、上手に魅力的なものを見付けます。学校での様々な活動において、子供の心に響く体験がより多く生まれるようにしたいと思います。

先月は、運動会を全学年参集して行うことができました。運動が得意な子供もそうでない子供も、全力で取り組んでいました。順位が遅くなりそうでも、ゴールまで歯を食いしばって走る姿や、応援席から声をそろえて声援を送る姿もたくさん見られ、テーマ「燃えろ 一致団結 最高の思い出」のと通りの運動会になったと感じています。当日は、たくさんの方に参観いただき、ありがとうございました。子供たちにとって、家族に見守ってもらったことは、恥ずかしくもあり、心強くもあつたでしょうが、確実に、やり遂げた充実感を大きくすることになったと考えています。運動会後の子供たちは、やり遂げた自信を感じさせる表情をしていました。

また、6年生は、5月24日（水）に行われた氷見市連合体育大会では、一人一人が練習の成果を発揮しながら全力で取り組み、素晴らしい成果を収めました。6年生にとって、自信につながるよい機会になったようです。今後も、行事等の活動で成就感や自信を感じられるように指導していきたいと思っています。今月も、本校の教育活動にご理解と、ご協力をお願いいたします。

夏季休業中のプール開放について

今年度、夏季休業中のプール開放を行います。新型コロナウイルス感染症は5類相当に位置づけられましたが、強い感染力をもっております。感染症への注意を万全にしながら、子供の活動機会が昨年度よりも増えるように計画しています。

夏季休業中は、登校班ごとにプール開放の日を指定します。感染症の拡大を防ぐとともに、確実に子供の動きを見守れるようにして事故の防止に努めます。

ご理解とご協力をいただきますようお願いします。



<水やりをする子供>



生き生き窪っ子 いろいろな場面で生き生きと活動する窪っ子の様子を紹介します。

ねぎの苗植え 3年生

6月1日(木)に学校近くの畑でねぎの苗を植えました。3年生によるねぎの栽培は、JAの方のご助力をいただきながら、長年行っている活動です。JAの方に植え方を教えていただき、そっと土をかけました。この後、畝上げ、追肥、収穫と活動を行っていきます。3年生は運動会でもねぎの栽培に関係する競技を行うほど、ねぎの栽培に対する関心は高まっています。今後も、定期的にねぎの世話をします。その様子は便りやホームページ等でお知らせします。



交通安全教室 1年生

6月6日(火)に交通安全教室を行いました。氷見警察署と市役所から来ていただき、交差点や道路の正しい渡り方などを教えていただきました。これからの、安全な登下校に生かせるように指導していきます。6月は、統計的に児童が関係する交通事故が多発する時期だそうです。ご家庭でも、交通安全に気を付けるように声をかけてください。



漂着物アート 4年生

4年生は、5月30日(火)に松田江浜へ行き漂着物を収集しました。貝殻や流木だけでなく、ブイや漁網等いろいろなものを喜んで収集していました。6月7日(水)には、漂着物を使ってアート作品を作りました。体育館いっぱいに広がって、グループごとに漂着物からイメージを広げて作品を作りました。この活動を通して、子供たちの発想の豊かさに感心しました。また、漂着物がアート作品に生まれ変わったことは、子供たちがSDG'sに参画できると感じたのではないかと考えています。子供たちが作ったアート作品は、6月10日(土)~25日(日)の期間、氷見市海浜植物園で展示されております。



宿泊学習 5年生

6月8・9日に国立能登青少年交流の家で宿泊学習を行いました。力を合わせてカッターを漕いだり、集中してアーチェリーの矢を射たり、みんなで楽しくカレーライスを作ったりしました。夜には、キャンドルサービスを行って、親睦を深めました。ジェスチャーゲームでは、言葉を使わずに身振りで伝え合いました。分かり合ったときには、伝える側も受け取る側も同時に笑顔になっていました。集団の中で、自分の役割を果たすことや一緒に楽しい時間を過ごすことができ、集団の役に立てるという自信になるとともに、集団として一層結束力が高まったようでした。



子供たちが宿泊学習でできたことに自信をもち、これからの学校生活でも生かせるように努めていきます。